

## 2 - 3 重点事業評価

事業名

県内図書館等との連携協力の推進

### (1) 事業の概要

#### ● 対象

県内の市町村立図書館・公民館図書室・大学図書館・試験研究機関等。

#### ● 意図・目的

本県公共図書館の中核としての役割への期待も大きいことから、県内の市町村立図書館等に対する業務協力を行ない、県民に対する幅広い読書推進活動を進める。

#### ● 具体的取組の概要

①県内の市町村立図書館・公民館図書室職員を対象に開催している研修会や、新潟県図書館等情報ネットワーク構成機関（市町村立図書館・公民館図書室・大学図書館・試験研究機関等）に対して実施している訪問研修の内容の充実を図ることにより、県全体の図書館サービスのレベルアップを目指す。

②県内の小規模自治体の読書環境の整備と読書活動を支援するため、一昨年開始した資料の長期一括貸出について、貸出セット数を増やし、支援を強化する。また、引き続き、モデル事業として、遠隔地域の市町村立図書館・公民館図書室に講演会講師を派遣し、郷土文化に関する講演会等の開催を支援する。

### (2) 指標（本年度の目標）

項目（指標）	本年度の達成目標（数値）	成果
集合研修・訪問研修の参加者満足度（アンケートで参考になった、やや参考になったと回答した割合）	80%	94%

（前年度実績：訪問研修・満足度アンケート未実施）

### (3) 事業評価（自己評価）

自己評価	AA（達成率118%）	集合研修・訪問研修の参加者満足度は高く、目標を上回る結果となった。
------	-------------	-----------------------------------

AA 目標が十分に達成された。

A 目標が達成された。

B 目標に今一步及ばなかった。

C 目標を達成できなかった。

項目	項目の解説	状況
必要性	利用者ニーズまたは図書館の使命や方針に照らして、妥当か。	県内図書館職員の資質向上に繋がる各種研修の実施は、ニーズも高く、県立図書館として重要な事業であると考えられる。
有効性	期待される成果と実際の成果との関係。実績の向上がみられたか。	集合研修・訪問研修のアンケート結果を見ると、事業の有効性について肯定的な意見が多く、一定の成果が得られたと考えられる。
効率性	事業計画に対する内容や量、業務の運び方、進捗管理の妥当性等。	集合研修の立案に当たっては、ニーズを考慮したテーマや講師選定を心がけた。一方、訪問研修については、事前に十分聞き取りを行うことで、各館の希望に沿った内容となるよう努めた。

### (4) 次年度の展開

方向性・問題点・改善点など

訪問研修は、各館の実情や希望に合わせた内容で、少人数を対象に実施するため、集合研修に比べて効率的な事業とは言いがたい。職員体制が厳しい中で事業を継続していくためには、効率性を高める工夫を考えていく必要がある。

集合研修については、参加者アンケートの結果なども参考にして、今後も、図書館を取り巻く環境の変化に対応できる図書館員の養成に繋がるような質の高い研修を実施したい。

(5) 図書館協議会意見

集合研修・訪問研修について、参加者の満足度が高いことは評価される。特に訪問研修は、各館の実情や希望に合わせた内容としている効果の表れとして捉えることができる。

「市町村の図書館にとっては期待が大きく、有益な機会となっており充実を望む」、「職員数や財政面からの制約はあると思うが、可能な限り維持、充実してほしい」という意見が出された一方で、現在の職員体制の厳しさをふまえると、「もっと広い地域を想定して回数を減らさなければ職員が倒れてしまう恐れがある」「近隣図書館職員にも参加してもらい、一回あたりの参加者数を増やし、全体としての回数を減らしてはどうか」など、「効率性」を高めることを求める意見も出されている。今後の取り組みに対する図書館としての方向性を検討し、明らかにする必要があると考える。

セット図書長期一括貸出については、県内市町村に対する物理的な支援として評価される。今後も、貸出図書館・公民館の要望に応じた対応が必要であるが、そのためには、セット図書がどのように活用されているかを把握し、改善点を見出す取り組みも必要であると考えられる。

さらに、これらの人的・物的な連携の他に、県内図書館の長所や特徴などの情報提供を促進するなど、「情報共有による連携」も必要であるという意見が出された。